

8-3 備前窯元アンケート集計結果

岡下慶彦・森脇裕子

I 貴方ご自身のことやお店についてお尋ねします。

- 問1 備前焼陶友会には所属していますか。
- 1 所属している 17
2 所属していない 0

問2 備前焼陶友会以外で所属している団体がある場合、差し支えなければ教えてください。

- 1 ある () 5
2 特にない 11

無回答 1

問3 所属している陶工さんの中で備前陶芸センターの修了者、あるいは入所されている方がいらっしゃいますか。

- 1 いる ()人 13
・その内(1名)5、(2名)3、(3名)3、無記入 2
2 いない 4

問4 一年に何回ほど窯焚きをされていますか。

- ・一年に()回くらい
(1回~3回) 10、(4~5回) 3、(6~7回) 2、(8回以上) 2

問5 一度の窯焚きでどのくらいの時間焚いていますか。

- ・() (時間・日) くらい
(10日未満) 4、(10日~14日) 13、(15日以上) 0

問6 差し支えなければ現在所有されている窯の数を教えてください。

- 登り窯 ()基 (0基) 0 (1基) 8 (2基) 8 (3基) 1
角窯 ()基 (0基) 8 (1基) 5 (2基) 3 (3基) 1
電気窯 ()基 (0基) 8 (1基) 5 (2基) 1 (3基) 2
その他 () ガス窯 (1基) 3 穴窯 (1基) 1

問7 登り窯を所有されている方にお尋ねします。貴方のところで登り窯を最初に築かれたのは何年ごろですか。

- ・()年ごろ
(不明) 2 (1910年~1930年) 3 (1931年~1950年) 2
(1951年~1970年) 1 (1971年~1980年) 9
(1981年以降) 0

問8 あなたが備前で作陶する理由はなんですか？もっとも当てはまるものに○を付けてください。(複数選択者あり)

- 1、作陶以外の理由で備前に住んでいるため。 3

- 2、備前の窯に魅力を感じたため。 1
3、備前の町に魅力を感じたため。 0
4、備前の土に魅力を感じたため。 2
5、備前焼そのものに魅力を感じたため。 12

無回答 2 (ただし2つとも「後継ぎなので」という理由の書き込みあり)

問9 現在、粘土はどのようなものを使っておられますか。(複数選択回答者あり)

- 1、伊部や備前片上で自ら採取した粘土 12
2、伊部や備前片上で採取された市販の粘土 4
3、市販されている他産地の粘土 0
4、既に数種の粘土を配合してある市販の粘土 2
5、市販されている粘土(伊部や備前片上・他産地に関わらず)数種を自分で配合したもの 0

問10 毎年の備前焼まつりには参加されていますか。

- 1 参加している 17
2 参加していない 0
3 その他() 0

問11 問10で参加されていると答えた方にお尋ねします。

過去、何か重要な役割につかれたことはありますか。差し支えなければお答えください。

- ・ 陶友会理事として 4
・ 実行委員として 2

II 作品販売についてお尋ねします。

問1 現在行っている販売方法は次のうちのどれですか。(複数選択可)

- 合わせて出荷に占める割合の大きいものから順に「」内に番号を振ってください。
- 1、自店舗販売「」 15
2、自店舗以外の小売店(百貨店など含む)への卸「」 17
3、問屋への卸「」 7
4、料理店との取引「」 5
5、料理店以外の特定の店(喫茶、旅館、ギャラリーなど)との取引「」 4

6、通信販売（自前・委託）「 」

1

7、個人からの注文制作「 」

9

8、その他（ ）「 」

1

・個人への小売

・出荷優先順位

回答者 12 非回答者 5

1位 (1) 11 (2) 1

2位 (1) 1 (2) 9 (4) 1 (7) 1

3位 (2) 1 (3) 1 (4) 1 (5) 1 (7) 5

その他（個人への小売）1

4位 (2) 1 (3) 1 (4) 1 (5) 1 (6) 1

5位 (3) 1 (4) 1 (5) 1

6位 (5) 1 (7) 1

問2 販売の際、備前焼陶友会や他の所属団体を通すことはありますか。

1、 ない 1

2、 まれにある 12

3、 よくある 4

問3 問2で「ある」と答えた方にお尋ねします。所属団体を通すことの理由は何ですか。

（複数選択可）

1、 純粋な販売委託 7

2、 顧客幅を広げるため 6

3、 そういった要請が団体側からある 10

4、 その他（ ） 1

・ 流通を考えるため

Ⅲ 陶芸の街としての備前、そして備前焼の将来についてお尋ねします。

問1 伊部や備前片上などの町において、窯元と地域住民との関係はどのように感じておられますか。

1、 相互に理解がすすんでいる良好な関係である。 7

2、 理解はすすんでいるが、普段の結びつきに不安を感じることもある。 4

3、 お互いの理解に不安を感じる。 3

・ 田舎であるのに中途半端な町（都市）が問題である。

4、 その他 3

・ とりたてた不安感はないが、地域の人にも楽しんで頂けることを考えていきたいとは思っている。

・ 自由に窯をつくることができない。

・ 個人間の取引は現時点では余りない。

問2 問1で2、3を選ばれた方にお聞きします。具体的にどのような点に不安を感じますか。

・ 多量の煙を出すので、備前焼に関係ない近隣住人との問題

・ 公害など

・ 焼成中の煙害

・ 有機煙害を一般の有機煙害の公害と同一視されている。

・ 備前焼まつりの時10万人以上の人があると住民の日常生活に支障をきたす。

（自動車の移動とか音が大きいとか）ごく一部の人の問題でしょう。

・ 薪をたくことによる煙の問題。

問3 備前焼は観光産業の一つでもあります。備前を訪れる観光客が年々少しずつ減ってきていることについてどう思いますか。

1、 深刻な問題であり、早く対策を練るべきである。 13

2、 問題だと思うが今のところ影響は感じない。 0

3、 特に危機感はない。 0

4、 その他 4

・ 深刻な問題だが、良い作品を作るしかない

・ 地方の伝統文化と現代文化の在り方の問題である。

・ 今は全国どの窯場でも同じで大変だと思う。

問4 煙害問題について、どう考えておられますか。

1、 早急に対応が必要である。 1

2、 地域住民の理解が得られれば何とかなる。 12

・ 公害に対する認識の一般の見方が画一的である。マスメディアの問題。

3、 特に危機感はない。 2

4、 その他 2

・ 煙は必要である

問5 問3、4のような問題について、誰が積極的に動けば解決すると思いますか。

1、 行政 6

2、 備前焼陶友会などのような団体 9

3、 地域住民 2

- 4、 窯元 3
 5、 小売店 0
 6、 個人作家 0
 7、 その他 6

- ・ 2とやる気のある人での勉強会が必要だと思っています。
- ・ 地域住民の理解
- ・ 一般大衆の認識の問題
- ・ すべて一体にならないと出来ない。
- ・ わからない

問6 上に上げた以外にどのような問題があると感じますか。(複数選択可)

- 1、 町に活気がない 9
 2、 後継者不足 1
 3、 売り上げが伸びない 10
 4、 備前焼そのもののPR不足 3
 5、 作品盗用が起きている 0
 6、 その他 4
- ・ 安売り(値引き)する店が多くなった
 - ・ 伊部の町に窯がつけない
 - ・ 町の活気についてはPR不足だし、何か提案しないと、とは思っている。
- 7、 特に問題はない 0

無回答 2

問7 それでも備前焼は焼き物産業全体では成功している側であると言われますが、その理由は何だと思えますか。(複数選択可)

- 1、 備前焼そのものの良さ 14
 2、 自由な販売形態 4
 3、 登り窯を使えるところ 5
 4、 行政の支援 1
 5、 所属団体の支援 0
 6、 地域住民の理解 2
 7、 その他 2
- ・ 他窯業地とは個人と会社の比率、または製造プロセスに違いがあるため、見かけ上成功のように思われているに過ぎない。
 - ・ 備前焼の特異性、土、無釉、手造り、自然の焼き上がり

無回答 1

問8 これからの備前焼についてどのようにお考えですか。

- 1、 今までの伝統を守り作陶していくべきだ。 3
 2、 それぞれの作風の中に伝統を活かしていくべきだ。 5
 3、 伝統をふまえて新しいものをつくるべきだ。

9

- 4、 あまり伝統にこだわる必要はない。 0
 5、 伝統よりも新しい感覚でものをつくるべきだ。 1

- 6、 伝統に固執することなく新しいニーズを取り入れるべきだ。 0
 7、 その他 3

- ・ 多種多様の趣味性の問題。
- ・ 備前焼の秘めた実用の機能をもっと探求すべきである。
- ・ 以上全ての事を考慮に入れる。

無回答 1

問9 以下の中から、現在備前焼をPRするためにしていることには○を、また、いずれしてみたいことには△をつけてください。

- 1、 メディアを利用したPR ○8 △2
 2、 備前焼まつりを初めとした地元イベントへの参加 ○9 △0
 3、 2のほかに行政主催のイベントへの参加 ○3 △1
- ・ 各県・各都市でのイベント
- 5、 旅行会社などを通じた観光客の誘致 ○2 △5
 6、 陶芸教室を開く ○6 △0
 7、 その他 ○3 △1
- ・ 来客に対する誠意ある対応
 - ・ インターネット販売
 - ・ ウェブ
 - ・ 現代の社会風潮の変化を期待する。
- 8、 特にない ○0 △0

無回答 1

問10 外国人陶工の育成に興味を感じますか。

- 1、 すでに行っている 3

(国名：アメリカ2 イギリス2 イタリア1 イスラエル1)

- 2、 積極的に取り組む予定 1
 3、 (市や県などから)何か申し入れがあればやってみたい 3
 4、 特に考えていない

5、 出さなければ行たくない 8

6、 その他 0

- 2
- ・ 現在日本人を含めて新しい人の育成の必要はない
 - ・ 何も外国人に頼ることはない。

無回答 1

問11 今後、備前焼を積極的に国内あるいは海外へ展開していく予定はありますか。

(インターネット販売、海外店舗への出店、作陶体験の出前授業、など)

1、 既に行っている

4

- ・ 作陶体験の出前授業
- ・ 陶芸指導、体験、教室(小学生を対象、また、一般も含む)
- ・ インターネット販売

2、 この先予定がある

4

- ・ ウェブショップ
- ・ 組合員で出来事をまとめて(日帰り、一泊、コース等)近隣の町、又は旅行業者と話し合いをしたりと考えています。

3、 (市や県から)何か申し入れがあればやってみたい 2

4、 特に考えていない

5

5、 出来れば行たくない

0

6、 その他

3

- ・ 特にその必要を感じない
- ・ S30頃、アメリカ、カナダの百貨店、ハワイへ輸出、シンガポールへは抹茶茶碗

無回答 1

問12 備前焼の定義、備前焼の良さとは何かと思えますか

・ 伝統の技法(製法)を襲って今日がある。

備前焼は・器の種類であって陶器ではない。・器技法で約1000年かたくなに襲われてきました。3000年昔、地中海沿岸では、・器の器で鯛の魚番を造り、パスタの味付けに用いている。(現代も行われている《NHK発》)2000年前昔の中国の本草経より、中国では水質が悪くて呑めない水を沸かして・器の器に容れ汲み置くと毒気が去る・・・と。1000年昔より、備前水がめ水

がくざらん、と云われて、鎌倉、室町、桃山時代には、水や穀物の保存に重宝された。

このような実用の機能性を秘めている。

・ 釉薬を使わない焼成の「自然美」「おおらかさ」「素朴な土のにおい」

・ 本来備前焼は、登り窯、穴窯による松割り木で焼成したもので、土は備前の田んぼ土と、山土のブレンドで、1200度くらいの温度にたえることと、釉薬は使わない焼しめの焼物だと思っています。コストを下げるために角窯、ガス窯、電気窯等を使う方が増えていますが・・・。登り窯で焼いた自然美の作品で世界に一点の良さと、使うほどにつや、色が美しく変化してつるつると手になじむ、などの良さもいろいろあります。

・ 無釉陶器と手造りの素朴の味わい。

・ 無釉で土を焼き締める。

・ 無釉の土味。

・ 手造り感。

・ 釉薬不使用と良質の原土を使用して徹底的に焼成をすること。

・ 焼き締め陶、野暮、伝統文化、地方色、特殊焼。

・ 伊部の地下3m~5mのところに堆積された、伊部の地形、環境に育った土を使い、燃料を赤松のみ使用し、10日~15日間の長時間焼き続け、窯も昔のままの形式で自然を重視、量産ではなく工芸品として作られている為、用の目的にくわえ、一点一点鑑賞的価値があるのではないのでしょうか。

日本には、茶道・華道があつて、器を鑑賞します。日本独特の文化の中に育ったともいえるのでは。

・ 登り窯、無釉。

・ 備前本来の土の力。

・ 焼シメの焼物として、ただ一つ残っている点。登り窯など、木と燃料とした、自然に出る味。

・ 土と炎の素朴な表現

問13 備前に理想の将来像をお持ちでしたら、ご自由にお書きください。

・ 美(個性の表現)こそ大切である。それに加えて実用の機能を科学的に解明して、その実用性を知り、作陶に励むことにより、新しい備前焼の時代に移行できると確信します。

備前すり鉢投げても割れぬ。桃山時代、備前すり鉢の大半は火薬作りに用いられている。理由は静電気爆発を起こさない。(根束では大量のすり鉢が、秀吉の根束攻めに割られている)

・ 備前焼は日本六古窯の一つで古くから伝えられている、伝統工芸の手法を守り伝えたい。

・ 思いはありますが体力と資本不足を考えると・・・。

・ 備前焼は盛衰を繰り返しながら変身しつつ、生き続け

るもの。

・もっと焼物の町らしい町並みに（歩道、車道に備前焼のタイルをはる、各所にモニュメント的なものを造るなど）

半日から一日遊べる（見学できる）備前焼公園を造る（自然の森を利用して）

今の観光客は備前に来ても30分から1時間ほど窯や仕事場を見学するだけで帰ってしまう。その程度の時間では備前の良さはわからない。また、たまに来るお客さんにどこかいいところはありますかと聞かれても美術館とか、雨谷学校とかしかない。京都の清水団地のような

ところが備前にもできてほしい。

・情生で備前焼を造らないでほしい。後継者だから、家の職業だから仕方なくではなく、積極的にやってほしい。今後古い窯が減っていつまでも壊れていってしまうかもしれないが、窯を絶やさずいきたい。

・焼物の郷、1000年の歴史を感じられる町として、日本人の心のふる里として、いつまでも栄えてほしいですね。自然を大切にと思う心も、すべての人が一体にならないと破壊されますね。立派な公園も、人（来客数）が少ないと管理、維持できないし、多すぎると破壊されるし、バランスが難しいですね。